

## 内容の整理

- 次の文章の空欄に、本文・脚注を参考にしながら適当な言葉を入れよ。
- 神社に参詣する「初め〔三〇・8〕
  - 丹波の〔①〕  
〔②〕  
〔③〕  
」をおこした。
  - 上人の勘違い〔三〇・9～終わり〕  
「〔②〕は、拝殿の前に立つ〔④〕  
〔⑤〕を見て、この立ち方  
はたいそう〔⑥〕  
〔⑦〕を呼んで尋ねてみると、それは〔⑧〕  
だと判明した。「〔②〕の〔⑨〕  
」は無駄になってしまった。

## 基本

1 次の語句の本文中での意味を書け。

- (1) ゆゆし〔三〇・7〕  
〔〕
- (2) むげなり〔三一・2〕  
〔〕
- (3) おとなし〔三一・3〕  
〔〕
- (4) さがなし〔三一・6〕  
〔〕
- (5) いたづらなり〔三一・8〕  
〔〕

2 「あなめでたや。」〔三〇・11〕を現代語訳せよ。

- 〔〕
- 3 「まことに他に異なりけり。都のつとに語らん。」〔三一・2〕を、傍線部の意味に注意して現代語訳せよ。
- 〔〕

## 読解

- 1 「具しもて行きたるに」〔三〇・6〕とあるが、誰が、誰を、どこに連れていったのか、答えよ。
- 〔〕

- 2 「御前なる獅子、狛犬、背きて、後ろさまに立ちたりければ」〔三〇・9〕について、(1) 何の、どんな様子を表しているか、答えよ。
- 〔〕

(2) これを見た時の聖海上人の心情として適當なものを、次の中から一つ選べ。

- ア めったにないもので、御利益がありそうだ。  
イ 子どものいたずらが、あまりにも情けない。  
ウ 出来映えがすばらしいので、長く残したい。  
エ 何か由緒がありそうで、すばらしいことだ。

(3) 聖海上人は、(1)の様子に気づかない他の人々のことをどのように思つてゐるか。本文中から一語で抜き出せ。

〔 〕

3 「上人なほゆかしがりて」〔三一・3〕について、

(1) 聖海上人が知りたく思ったのはどんなことか、答えよ。

〔 〕

(2) 聖海上人は(1)のことを知るために、どんな人に尋ねたのか。次の中から適當なものを一つ選べ。

- ア 頬見知りの神官で、落ち着いていて信頼できそうな人。  
イ この社の神官で、年配でものをよく知つていそうな人。  
ウ 出雲大社から来た神官で、位が高く分別のありそうな人。  
エ ともに参拝に来た人で、神官のことをよく知つている人。

〔 〕

4 「定めて習ひあることに侍らん。」〔三一・5〕の「習ひ」と同じ意味で用いられている言葉を、本文中から一語で抜き出せ。

〔 〕

5 「すゑ直していにければ」〔三一・7〕を、主語や目的語を補つて現代語訳せよ。

〔 〕

6 「上人の感涙いたづらになりにけり。」〔三一・8〕について、

- (1) これは誰の言葉と考へられるか。次の中から適當なものを一つ選べ。

ア しだのなにがし イ ともに参拝に行つた人々

ウ 神官 エ 作者

〔 〕

- (2) 「感涙」が「いたづらに」なつたのは、なぜか。上人の感激の元になつたものが實際は何だつたのかに触れて、その理由を説明せよ。

〔 〕

7 本文すべてをレポート用紙に現代語訳せよ。

〔 〕